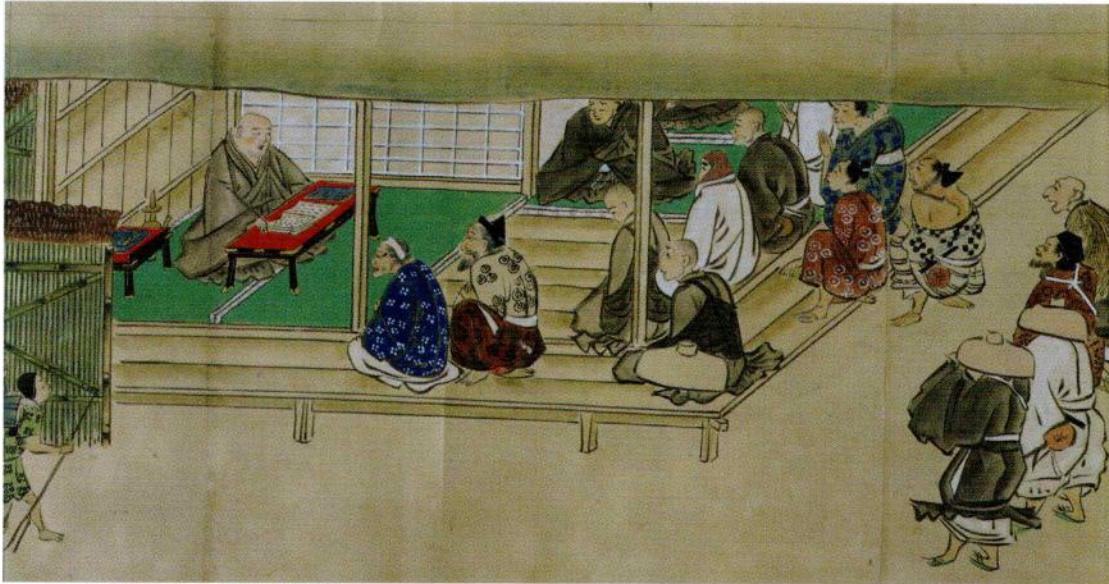


宗教が問われる今こそ お念仏の教えを見つめ直す



法然上人絵伝（摸本）第34巻／東京国立博物館蔵（出典：ColBase (<https://colbase.nich.go.jp>)
教えを請う人々に、法然上人が念仏往生について説き聞かせる姿が描かれている。

和顔愛語

寺報

令和4年9月号

宗 教関連の報道に接する機会が増えたような気がします。安倍晋三元首相が亡くなられた事件の背景に旧統一教会が関係あることが明かされ、にわかに「宗教」に注目が集まりました。

30年ほど前、桜田淳子さんが合同結婚式で結婚をしたことが大きな話題になり、90年代はこの報道とともに、オウム真理教やその教祖・麻原彰晃もテレビなどによく登場し、新興宗教とマスコミの距離がずいぶん近かったように思います。しかし、オウム真理教がテロ事件をおこして以来、新興宗教をテレビで見える機会が減りました。報道が減ったとはいえ、旧統一教会の活動は続いており、最近の報道ではいくつかの刑事事件にも関与し、逮捕者もでていたようです。今回も、様々な報道から、「宗教」全般に対して不信感を覚えた人もいることでしょう。

亡くなった安倍元首相の葬儀は浄土宗の大本山である増上寺（東京都）で行われ、弔いの場には多くの人が集まりました。本来、宗

教は私達の不安や苦しみを解消するためのものであり、病人にとって薬のようなものです。一方で、用法や用量を見誤ると、よい結果が出ないこともあるでしょう。

法然上人は、戦乱や飢饉によって不安を抱いていた人々に、「ただお念仏をとなえれば、必ず阿弥陀様に救っていただける」と教えを説き広め、世の中に大きな希望を与えました。しかし歴史ある寺院は朝廷などに働きかけて、「南無阿弥陀仏」のお念仏の教えが世の中に広がらないように画策しました。当時は新興であった「お念仏」が、既存の宗派にとってそれまでの仏教を否定する宗教の悪用と映ったのかもしれない。

法然上人が浄土宗を開いてから間もなく850年。お念仏の教えが世の中に必要であり、たくさんの人を導いてきたからこそこれだけの長期間にわたり、生き残ってきたのでしょう。受け継がれてきたものには本物の輝きがあります。宗教が問われる今、身近にある本物を見つめ直す機会です。

お経の意味を知ろう⑨

～日常勤行式編～

しょうやくもん [撰益文] ねんぶついちえ [念仏一会]

浄土宗では「日常勤行式」と呼ばれる式次第に則って読経します。式次第に書かれているお経(偈文)について毎号解説します。

「撰益文」

こうみょうへんじょう
光明偏照

じつぼうせかい
十方世界

ねんぶつしゅじょう
念仏衆生

せつしゅふしゃ
摄取不者

「念仏一会」

南無阿弥陀仏 南無阿弥陀仏……

【意識】

阿弥陀様から放たれる智慧や慈悲の光明は、あらゆる世界を隅々まで照らし、念仏する人々を必ず救いとしてくださいます。だんだんと高まつてきた阿弥陀様への想いを胸に、数にとらわれず、一心に南無阿弥陀仏と繰り返し返しおとなえましょう。

「お経ってどんなことが書かれているの？」誰しも一度はそんな疑問を持ったことがあるのではないのでしょうか。

お経はお釈迦様の教えを文章にまとめたものです。ここでは日頃のおつとめ(勤行)で読経する式次第をまとめた「日常勤行式」を丁寧に解説していきます。

【解説】

「撰益文」は、阿弥陀様の

人はその威光を一首の和歌に託しています。

光明があらゆる世界をくまなく照らし、念仏する人々を必ず救いとる、ということをお

月かげの いたらぬさとは

さらかにかにしています。法然上

なけれど

きらかにしています。法然上

ながむる人の 心にぞすむ

さらかにかにしています。法然上

これは浄土宗宗歌の「月か

げ」というご詠歌。ご存じの方も多しはず。その意味するところを「撰益文」と照らし合わせて説明しましょう。

前半の「月かげのくなければども」は、分け隔てなく夜の闇を皓皓と照らしている月の光(月かげ)を「光明」、つまり、阿弥陀様の救いの光と重ね、気づくと気づかないとに関わらず、また、お念仏をとなえる人も、そうでない人も、常に照らしている、と表しています。

そして後半の「ながむる人の心にぞすむ」は、その月を仰ぐからこそ、照らされていることにも、その明るさにも気がつく、つまりは、お念仏をとなえることによって、阿弥陀様の光に気づき、極楽へ迎えられることへの想いがより深まる、ということなのです。

さて、いよいよ「日常勤行式」のクライマックスとも言える「念仏一会」です。「南

無阿弥陀仏」を一心におとなえしますが、「十念」のようにとくに回数を決まりを設けていません。通常の法事などでは時間の都合もありますので5分ほどで区切ることも多いですし、別時念仏会などお念仏をとなえる会では1時間や2時間、中には24時間となえるという場合もあります。

お念仏の数については、法然上人が「上を臨んでは一生涯、下を見れば、お念仏の素晴らしさを聞いて、10回、1回のうちに臨終を迎えてしまう場合まで」としています。はじめのうちは、数、時間を決めてという方法もあります。基本は自分の気持ちに納得するまで繰り返しおとなえする、ということなのです。

いずれにせよ、これまでの偈文、經典の教えのままに、お念仏をとなえれば間違ひなく往生できるといふ確信を持ち、「南無」といふ帰依の心、つまり、お願い致します、お任せ致します、ということでおとなえましょう。

伝えたい言葉 (8)

池の水

人の心に

似たりけり

にこりすむこと

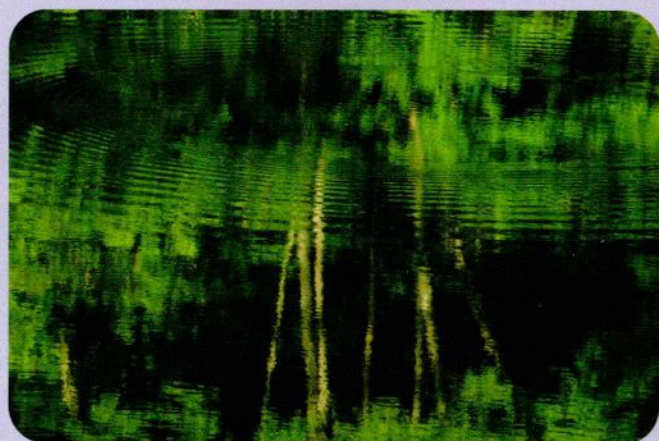
さためなければ

(法然上人ご詠歌)

〈現代語訳〉

池の水は人の心に似ています。濁ったり澄んだりして定まることがないものです。

明鏡止水。風一つない穏やかな天気のかな、水面が鏡のように明るく澄みわたる光景、そして曇りなく落ちつく心境をあらわす言葉です。一方で風が吹いたり、雨が降ったりすると水面は揺らぎ、台風がくれば大きな波が立ち、さらに泥が流れこみ水は濁ります。人はそのよう



な変化をみせる川や池などをながめて、様々なことを考えるようです。

法然上人と同時代を生きた鴨長明も、川の流れを人や町の様子に重ねています。源平合戦で多くの血が流れた京都の町、その他にも飢饉や自然災害など人の生活は苦難とともにありました。時代が変化するなかで自然に目をむけ、そこに人の営みや自分自身の心境を見て取ったの

でしょう。

法然上人はそのような時代のなかで、仏教を極めることを目標に生きていました。「木曾義仲が京都に討ち入りをした一日以外は毎日経典に向き合っていた」と述べていますが、戦乱のなかでも学び続けた上人の姿が目に浮かびます。一方で、仏教を学びながらも法然上人のころは穏やかではなかったようです。時に澄みわたり、時に濁る池の水をながめて、自身のころもまた同じように変化していると感じたのでしょうか。

私達はここを自分自身のものだと思っっていますが、そのわりに自分の思い通りにすることができません。池の水が風や雨でゆらぐように、世の中の悲惨な姿を目の当たりにしたり、悪意を向けられたりしたときには大きく動揺し、自分でも手を付けられないような状態になります。仏教の教えは、そんなここ

ろを自分でしつかりとコントロールしていくためのものです。もちろん自分のころの手綱を自分で握り、安定させることは重要です。しかし、それがなかなか難しい。

そんなころをもつ自分を、阿弥陀様にお任せすることで安定させるのが、浄土宗の考え方です。親は子供が素直な時も、反抗的な時も、愛情深く見守り育てるように、阿弥陀様は私達のころが澄み渡っている時も、濁りきった時も救いの手を差し伸べてくれます。法然上人はその救いに気づき、自分の身を阿弥陀様に任せることで、ころの安定を得ることができました。病める時も健やかなる時も阿弥陀様を頼りにして生きていくとき、私達のころは定まっています。不安やストレスを感じたら、ころに安定を得るための一つのヒントにしてみてください。

Q&Aですぐわかる! なるほど浄土宗

⑨

身近な仏教の疑問をQ & A形式で説明します!

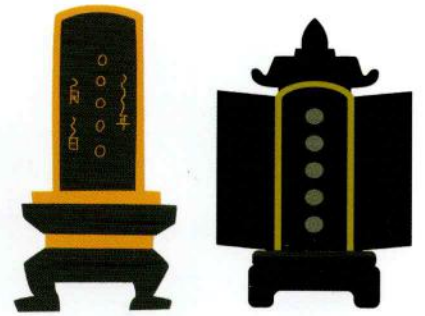
— お位牌はなくてはならないのでしょうか。形に意味はありますか？

— お位牌はご本尊とともに、お仏壇に祀る大切なものです。お位牌を祀ることでお亡くなりになった方を近くに感じ、またそれを通して私たちの思いを亡くなった方へ届けます。

浄土宗ではお位牌を開眼（魂入れ）して、故人の依代（よしろ）として手を合わせる対象にします。お位牌は、ある意味で故人そのものといえる仏具です。



近年のお位牌には様々なデザイン



左側が一般的なお位牌。右側は縲り出し位牌。

インがありますが、実は伝統的な形には意味があります。まず一番上の木の札のような部分の表には亡くなった方のお戒名を記し、その人そのものを表します。この裏に俗名や年齢を記します。その下に蓮台（れんたい）という部分があります。同じような形ながら、縲り出し位牌という位牌もあります。これは蓮台の上が箱状になっていて、中にお戒名や先祖代々を記したプレート状の木札を数名分収められるようになっています。

いずれにしても、お位牌は蓮台の上にお戒名が書かれています。これは亡くなった方が極楽の蓮の中に生まれ変わった姿を表現しています。あの形には大切な意味が込められているのです。

書家 本田ルミ 個展

巡る季節 廻る鯉

The life of a carp. And the four seasons.



本展示に合わせて、「生命の繋がり」をコンセプトとしたフラワーアートの展示もごさいます



田原町駅より徒歩10分
合羽橋南交差点すぐ

日時：9月20日(火)～26日(月) 8時～17時開門

場所：正定寺 明和会館 (東京都台東区松が谷 2-1-2)

正定寺襖絵

期間限定公開